

中谷弘吉	京都	木村勘之助	三重
石川辰之助	山口	島田剛太郎	福井
竹内熊二	鳥取	中田錦吉	秋田
山田新一郎	福岡	富島暢夫	廣島
岡崎源之助	三重	木槻幸吉	兵庫
藤田虎力	東京	永井環	福井
三宅長策	愛知	大島富士太郎	東京
中井喜太郎	山口	漆畑春吉	靜岡
堀田馬三	山口	廣瀬吉郎	愛知
大熊米太郎	東京	米田俊徳	靜岡
潮田方藏	靜岡	大喜多虎之助	岐阜
加納哲三郎	大分	林政次郎	三重
常松英吉	岐阜	芹澤孝太郎	山形

第一年

林金次郎	東京	保科捨吉	岐阜
左右田新三郎	愛知	山田研一	愛知
入江金治	鳥取	松島彦輔	三重
窪田靜太郎	岡山	河村彌三郎	岡山
内田嘉吉	東京	中松盛雄	和歌山
志水吉之助	京都	成田元衛	青森
相原祐彌	宮城	久本爲藏	鳥取
石田氏幹	大分	久田濟衆	石川
鞍谷源吉	兵庫	梅村貞明	東京
平野正富	東京	服部丈之助	愛知
富塚玖馬	新潟	小川夔三	新潟
野田十代次	福岡	土山益次郎	東京



久後源一郎	東京	飯塚信一	靜岡
榎葉彦三郎	靜岡	奥平昌洪	兵庫
瀧間武二	鹿兒島	竹内平吉	新潟
丸山熊男	長野	瀧澤熊男	長野
山崎哲藏	山形	猪股靜治	鳥取
宮本五朔	茨城	黒岩倉太郎	福岡
市川米三郎	愛知	岡喜七郎	東京
山中鉦太郎	愛知	古屋仲二	岐阜
			岐阜

法律學科

第二部

第三年

吉原三郎	千葉	西久保弘道	佐賀
------	----	-------	----

神山享太郎	靜岡	吉田保五郎	佐賀
松本袈裟六	佐賀		

第二年

宮下道三郎	東京	鬼頭玉汝	新潟
松本慶次郎	山形	佐藤春樹	高知
本橋啓吉	東京	高橋雄一郎	靜岡
保田久三郎	東京	柳川勝二	佐賀
伊藤祐業	佐賀	黒羽源次	東京
竹添直一郎	鹿兒島	藤村徳司	徳島
林參次郎	東京	杉山榮枝	山口
林駒助	三重	千葉龜四郎	奈良
太田資時	東京		

第一年



中村菊之助	東京	岡田朝太郎	岐阜
見田秀四郎	東京	濱田道紀	高知
鈴木喜三郎	神奈川	松永武吉	鹿兒島
中村信三郎	宮城	井出繁三郎	秋田
松岡鉛吉	東京	内田功太郎	熊本
箕鏡平	東京	太田彦太郎	東京
木村幹一	静岡	水島松五郎	東京

法律學科

第三部

第二年

○湯川寬吉 和歌山 磯部百輔 山口  
飯野謹一 静岡 天野喜之助 東京

大槻龍治	宮城	長島鷲太郎	東京
大鐘彦市	福島	橋爪金三郎	東京
増田鎮吉	岐阜	服部甲子造	愛知
森田茂吉	兵庫	尾古初一郎	山口
安村佐留吉	高知	畑真太郎	長野
大津麟平	大阪	石橋友吉	福岡
石川啓太郎	愛媛	持田孝三郎	石川
岩村茂	三重		

第一年

齋藤十一郎	山形	村井十次郎	熊本
土屋辰太郎	山口	里見三策	東京
二瓶正藏	福島	坂口崇一	東京
西山金千代	三重	長谷部夏助	山形



小堀 銈作 東京 熊倉 操 新潟  
石川 卓爾 福島 小崎 順 三重

政治學科

第三年

○志村源太郎 山梨 津田喜代太郎 東京

有賀長文 大坂 金子銓太郎 大分

山崎覺次郎 靜岡 青木鐵太郎 岡山

織田 一 愛知 須崎芳三郎 神奈川

志立鐵次郎 島根 友平 甲子 東京

川上直之助 鹿兒島

第二年

佃 一 豫 愛媛 ○石塚英藏 福島

谷口留五郎 大坂 吉井友兄 鹿兒島

床次竹二郎 鹿兒島 橋本圭三郎 新潟

井上辰九郎 靜岡 木村久壽彌太 高知

堀江鋼一郎 東京 平澤正八郎 廣島

櫻井鐵太郎 靜岡 野村彌三郎 東京

柳谷卯三郎 長崎 佐脇安文 福岡

李家隆助 京都 久保 勇 鹿兒島

西澤正太郎 長野 山内 一次 鹿兒島

曾我祐保 福岡 遠藤剛太郎 福島

伴野乙彌 靜岡 白 仁 武 福岡

松井敏太郎 京都 高槻純之助 三重

山崎銀之助 島根 諏訪萬吉 福岡

倉田宗貞 大坂 大塚熊雄 愛媛



鈴置倉次郎	愛知	瀧澤清亮	東京
山本兼太郎	茨城	村木宇三郎	岡山
柳生庸輔	千葉	川上亮	東京
佐田九郎	東京	半澤賢輔	千葉
益田三藏	佐賀	藤井宇平	静岡
瀨脇壽次郎	東京	鈴木誠作	山形
尾崎德太郎	東京	松田光信	東京
松原銳藏	愛知	渡並元三郎	熊本
赤司新三郎	佐賀	朝比奈知泉	茨城

法律學科第一部第三年法理學、國際私法、同第二、三年英憲法

撰科  
筒井勇 東京

法律學科第一部第三年全科	鈴木安民	東京
法律學科第一部第三年法理學、國際私法、證據法、不動產法、行政法	牧兒馬太郎	石川
法律學科第一部第三年全科	明知八十八	新潟
法律學科第一部第三年法理學、行政法、國際私法、法理學、同第二、三年刑法、治罪法	湯淺勇吉	東京
法律學科第一部第三年全科	林健	大分
法律學科第一部第三年行政法、國際私法、法理學、證據法	木下彌三郎	和歌山
法律學科第一部第三年法理學、行政法、證據法	中島清重	茨城
法律學科第一部第二、三年全科	島京四郎	和歌山
法律學科第一部第二、三年全科	神田貢助	山口
法律學科第一部第二、三年全科及第一年契約法、羅馬法	長谷武雄	宮城
法律學科第一部第二、三年全科及第一年契約法、羅馬法	宇都宮五郎	愛媛
法律學科第一部第一、二年全科及第一年契約法、羅馬法	野口繁治	新潟
法律學科第一部第一、二年全科及第一年契約法、羅馬法	野尻理作	山梨



法律學科第一部第一 年全科及第 二年實買法、治罪法	民谷吉次郎	富山
法律學科第一部第一 年全科及第 二年治罪法	奧田清記	宮城
法律學科第一部第一 年全科及第 二年治罪法	細谷德衛	宮城
法律學科第一部第一 年全科	豐田俊助	福岡
法律學科第一部第一 年全科	濱本庫吉	兵庫
法律學科第一部第一 年全科	字都宮儀七郎	廣島
法律學科第一部第一 年全科	高柳覺太郎	靜岡
法律學科第一部第一 年全科	平松熊太郎	岡山
法律學科第三部第一 年羅馬法、理 財學、獨逸語	百岡啓次郎	岩手
法律學科第三部第一 年全科	飯塚雄次	大分
政治學科第三部第一 年財政學同	安積彌六郎	宮城
政治學科第三部第一 年全科	桐島像一	高知
政治學科第三部第一 年全科但獨逸語ヲ除ク	須藤鐵之助	神奈川

政治學科第三部第一 年貨幣論及銀行論	谷榮夫	佐賀
政治學科第三部第一 年貨幣論及銀行論	松木正雄	高知
政治學科第二部第一 年財政學、理財學、公 法、行政學、理財學演習	篠木伊勢松	福岡
政治學科第二部第一 年民法、行政學、理財 學、統計學、獨逸語、佛語	尾崎麟太郎	高知
政治學科第二部第一 年全科但獨逸語ヲ除ク	中林潔	三重
政治學科第二部第一 年民法	高力文作	靜岡
政治學科第二部第一 年民法	竹村眞次	靜岡
政治學科第二部第一 年民法、統計學同	可兒三隆	福岡
政治學科第二部第一 年民法、統計學同	間明基三郎	石川
政治學科第二部第一 年民法、行政學、統計學	平田金巳	千葉
政治學科第一 年全科但獨逸語ヲ除ク	古莊茂七郎	熊本
政治學科第一 年全科	竹川寅次郎	兵庫
政治學科第一 年全科但獨逸語ヲ除ク	高田貫一郎	兵庫



政治學科第一年全科 加川政之助 長野  
 政治學科第一年全科但獨逸語ヲ除ク 谷 武馬 高知  
 政治學科第一年全科 上原 滉 千葉  
 政治學科第一年全科但獨逸語ヲ除ク 柴田虎太郎 長崎  
 政治學科第一年全科 小手川豐太郎 大分  
 政治學科第一年全科 佐々木多門 青森  
 政治學科第一年全科 米山長太郎 石川  
 政治學科第一年民法同第二年理 齋藤忠三 埼玉  
 財學

第三 醫科大學學生及撰科生徒(姓名ノ上ニハ特待生ヲ)

研究科

醫學士 三輪 德寬 愛知 醫學士 保利 眞直 佐賀  
 醫學士 芳賀 榮次郎 福島

醫學科

卒業受驗生

○田代 義徳 大分 ○山極 勝三郎 長野  
 梶田 恭一郎 岩手 多田 貞一郎 千葉  
 村田 豐作 佐賀 平井 政道 福井  
 鈴木 文太郎 石川 宮島 滿治 神奈川  
 石井 龜次郎 東京 井上 善次郎 愛媛  
 笹川 三男造 東京 入澤 達吉 新潟  
 笠原 光興 東京 野田 義勳 愛媛  
 遠藤 外三郎 石川 小澤 弘 富山  
 後藤 武彦 愛知 渡邊 健藏 岐阜  
 藤原 道雄 岡山 福島 守雄 福岡  
 滋谷 周平 滋賀 藤江 良作 群馬



今井林二郎	隅田公彦	渡邊文治	澄川德	笠井銀之助	井上力	鹽野金吾	安尾清治	桑原丘為	行德朋太	大西鍛	平原元義	近藤常次郎
新潟	福井	新潟	福岡	埼玉	千葉	神奈川	山口	熊本	福岡	三重	東京	東京
	岡本梁松	帆足恒雄	稻生悌	川名千代吉	樋口茂太郎	近藤駒造	眞崎又吉	伊藤綠	田中敬助	多田學三郎	上坂實昭	今井政吉
	兵庫	大分	東京	千葉	滋賀	福岡	佐賀	鳥取	秋田	椽木	大坂	千葉

第四年

舟岡英之助	栗本秀二郎	水野欽	丸茂文良	落合兼亮	渡邊恭藏	鶴田禎次郎	筒井八百珠	若杉喜三郎	戸田成年	高田耕安	伊藤隼三
福井	東京	静岡	山梨	山口	宮城	佐賀	三重	新潟	福岡	京都	鳥取
	鈴木為吉	大村秀三郎	三島通良	渡邊泰	谷口長雄	吉村源太郎	吾妻慶治	關場不二彦	岡田和一郎	平井毓太郎	坪井速水
	東京	滋賀	東京	新潟	愛媛	静岡	秋田	青森	愛媛	三重	岐阜



澤邊祐尚	東京	安倍朝五郎	岡山
永井秀	東京	北村精造	東京
和辻春次	兵庫	高島吉三郎	石川
林曄禮	愛媛	海野信藏	大坂
白江規矩三郎	長崎	中村桃二郎	岐阜
山口虎太郎	東京	近藤節藏	鳥取
竹村一詮	新潟	井上樅藏	兵庫
廣瀬胖	三重	山本慎	三重
逸見文九郎	富山	田村貞策	宮城
第三年			
○鈴木徳男	北海道	高橋金一郎	群馬
鶴見次繁	長野	山縣四郎吉	東京
佐藤勤也	愛知	岡本武次	和歌山

石渡慶藏	福井	永井徳壽	宮城
小林文次郎	石川	赤沼信古	福島
宮入慶之助	長野	高橋真吉	東京
加門桂太郎	岡山	増田知正	神奈川
井上通泰	兵庫	吳秀三	廣島
伊庭雄太郎	東京	鶴見求馬	東京
中澤信四郎	兵庫	足立謙一郎	静岡
森田楨太	東京	平賀精次郎	山口
今居真吉	東京	土屋良藏	東京
遠田清	東京	岡部忠	福井
小川勝陳	茨城	寺田織尾	東京
高田壽	東京	朝夷真三	東京
太田耒夫	石川	平松駒太郎	和歌山



堀木三之助	群馬	千葉彌一郎	千葉
松島 濼	兵庫	大國真太郎	兵庫
森 篤次郎	東京	大里文五郎	秋田
柴田長道	兵庫		
○古川市次郎 德島			
○本堂恒次郎 岩手			
田中苗太郎	東京	三宅 速	德島
中原貞衛	山形	中西龜太郎	静岡
中島 雷	千葉	安藤慶次郎	東京
町田茂次郎	兵庫	早川庄次郎	石川
佐々倉永三郎	静岡	長松將之輔	山口
兒島 壽	岡山	梅原惇一	大坂
伊藤祐彦	山形	野田廣之助	東京

第二年

田村光顯	静岡	近藤與十	大分
神林與十郎	長野	大村久賀太郎	滋賀
多田德太郎	東京	伊藤彌之次	新潟
行德永孝	東京	山田鐵藏	山形
栗原永之助	埼玉	津田時之	三重
中川剛次郎	兵庫	賀古桃次	静岡
泉 鐵太郎	東京	鈴木信知	新潟
片倉馨亮	宮城	秋永皆太郎	佐賀
佐瀬丑八	東京		
第一年			
杉村 廉	静岡	戸塚機知	東京
中山森彦	東京	守矢親國	長野
松浦有志太郎	熊本	杉田 盛	東京



中川最助	西山謙吉	林	隈川勇四郎	小池作三	澤邊正三	三角	高瀬雅量	豐田虎之進	岩崎鉞三	秋元隆次郎	島崎昭	宮本叔
東京	滋賀	東京	東京	東京	京都	東京	東京	和歌山	静岡	東京	山梨	長野
川村政家	松尾知明	三好正太郎	熊野周治	橋田茂重	竹村鋌次郎	村山恒太郎	高井宮五郎	馬島珪之助	内田鉄五郎	大村清五郎	横田鋼太郎	鹽川寅治
静岡	佐賀	山口	山口	千葉	大坂	石川	岐阜	神奈川	東京	京都	愛知	鳥取

伊藤愛造	田中周得	雨貝八郎	外山格
鳥取	東京	茨城	千葉
水野鐵次郎	松本重孝	西卷治一郎	内藤昌英
三重	京都	新潟	山梨

藥學科

第二年

村山長之助	相川銀次郎	平山松次
東京	廣島	東京
池口慶三	古屋恒次郎	
兵庫	石川	

第一年

上野金太郎
東京
榎田龜一郎
東京

撰科



內科學  
 生理學  
 內科學  
 外科學  
 內科學  
 內科學  
 生理學  
 外科學  
 病理學  
 病理學  
 外科學  
 衛生學  
 衛生學

肥田和三郎 靜岡  
 荒木寅三郎 群馬  
 大槻宇吉 東京  
 有馬信吉 岐阜  
 兒玉昱藏 宮崎  
 橋本佳一 神奈川  
 中澤誠二郎 高知  
 山中岩三郎 岐阜  
 桂田富士郎 石川  
 江波知輝 石川  
 安原豐也 福井  
 日下毅 福島  
 安廣伴藏 福岡

病理學、衛生學  
 外科學  
 外科學、衛生學  
 內科學、外科學  
 內科學、衛生學  
 病理學  
 バクテリア學  
 外科學、病理學  
 外科學、病理學  
 內科學、病理學  
 外科學  
 外科學、病理學  
 外科學

遠山椿吉 山形  
 遠山矢十 山形  
 山川秀 福井  
 山本勘次郎 山口  
 信原義六郎 岡山  
 小松勘藏 秋田  
 長谷川清治 青森  
 井上勇之丞 山口  
 長谷川濟 千葉  
 山谷德治郎 岡山  
 安藤啓 岐阜  
 佐多愛彦 鹿兒島  
 玉崎隆三 福井



生藥學

製藥化學、實地製練

製藥化學、實地製練

實地製練

製藥化學

實地調劑

裁判化學、同實習

製藥化學

顯微鏡檢査

大口喜六 愛知

飯田準四郎 千葉

久保田力藏 長野

平澤繁太郎 長野

藤田蒲三郎 福井

櫻井求吉 愛媛

諸橋秀策 新潟

日比半七 東京

大林金一郎 東京

第四 工科大学學生及撰科生徒(姓名ノ上ニ〇印ヲ  
附スルハ特待生)

土木工學科

第三年

○廣川廣四郎 新潟 西尾虎太郎 廣島

丹羽鋤彦 東京 飯沼基次郎 愛知

岡崎芳樹 山口 國澤新兵衛 高知

渡邊六郎 長崎 新居楠次郎 高知

増田袈裟四郎 佐賀 穎川春平 東京

第二年

木村正一郎 兵庫 瀧川鋤二 茨城

岡田竹五郎 静岡 市瀬恭次郎 兵庫

奥山岩太郎 岡山 溝越元吉郎 長崎

石川石代 三重 青山鼎之助 愛知

石黒誠二郎 滋賀 三宅次郎 福岡

石丸重美 大分 只野成重 宮城

三池貞一郎 福岡



第一年

横井 鋼太 廣島

佐野藤次郎 愛知

門野重九郎 三重

高橋辰次郎 岐阜

關屋 鈴吉 岐阜

鶴田多門 佐賀

井川喜久藏 德島

佐藤雄二 宮城

長尾半平 新潟

機械工學科

第三年

○高辻 奈良造 大阪

大久保猪之助 福井

第二年

松原 崑 福岡

鈴木幾彌太 山形

瀧村竹男 静岡

第一年

田中富士太 佐賀

斯波權太郎 東京

森 彦三 岡山

造船學科

第三年

富山久米吉 石川

第二年

○白井 賴吉 東京

○寺野 精一 愛知

山田佐久 静岡

和田垣保造 兵庫

第一年

目 良 恒 神奈川

造兵學科

第二年

有 阪 鋁藏 東京



電氣工學科

第三年

○中川碩太郎 福井

小木虎次郎 京都

池田虎一郎 佐賀

第一年

小堀十龜 東京

大岩弘平 東京

第一年

潮田傳五郎 長野

造家學科

第二年

横川民輔 兵庫

鴨澤萬司 岩手

宗兵衛 福岡

第一年

應用化學科

第三年

石井敬吉 茨城

小野釘吉 京都

田島穉造 長崎

外波峰次郎 愛知

内海三貞 東京

北村鏡太郎 愛知

吉村兼富 鹿兒島

第二年

本野英吉郎 佐賀

第一年

篠田義五郎 京都

廣田金吾 東京

遠藤新藏 宮城

火藥學科

第一年



楠 瀨 熊 治 高 知

探鑛冶金學科

第三年

西 山 省 吾 宮 城

第一年

黑 岩 休 太 郎 鹿 兒 島

莊 島 熊 六 佐 賀

門 馬 軍 平 宮 城

撰 科

土 木 工 學 科 第 二 年 級 全 科

手 島 十 郎 京 都

土 木 工 學 科 第 一 年 級 全 科

保 科 圭 三 郎 東 京

土 木 工 學 科 第 一 年 級 全 科

永 田 銈 輔 千 葉

土 木 工 學 科 第 一 年 級 全 科

佐 藤 三 郎 山 口

機 械 工 學 科 第 一 年 級 全 科

駒 井 直 吉 兵 庫

造 船 學 科 第 三 年 級 全 科

山 本 金 一 廣 島

造 船 學 科 第 三 年 級 全 科

大 屋 八 十 八 郎 東 京

造 船 學 科 第 二 年 級 全 科

田 淵 泰 介 岡 山

電 氣 工 學 科 第 二 年 級 全 科

吉 川 源 吾 愛 知

造 家 學 科 第 二 年 級 全 科

岡 本 蓋 太 郎 東 京

造 家 學 科 第 一 年 級 全 科

山 崎 定 信 石 川

造 家 學 科 第 一 年 級 全 科

茂 庄 五 郎 長 崎

造 家 學 科 第 一 年 級 全 科

神 谷 邦 淑 滋 賀

應 用 化 學 科 第 三 年 級 無 機 化 學

山 本 銈 太 郎 石 川

應 用 化 學 科 第 一 年 級 全 科

長 束 穎 雄 廣 島

探 鑛 冶 金 學 科 第 二 年 級 全 科

工 學 士

若 山 由 五 郎 千 葉

探 鑛 冶 金 學 科 第 二 年 級 全 科

鎌 田 譜 熊 本



採鑛冶金學科第一一年級全科  
採鑛冶金學科第一一年級全科

井上章吉 山形  
橋高修吉 廣島

第五 文科大學學生及撰科生徒(姓名ノ上ニ〇印ヲ  
附スルハ特待生)

研究科

文學士 岡田 良平 靜岡 文學士 上田 萬年 愛知

哲學科

第三年

○大 西 祝 岡山 大 額 甚太郎 石川

渡邊 董之助 岐阜

第二年

○服部 宇之吉 東京 飯田 央 山口

藤井 宣正 新潟

第一年

小屋 保治 群馬 藤代 禎輔 千葉

牧瀬 五一郎 長崎 菅 虎雄 福岡

成田 正雄 青森

和文學科

第三年

○三 上 三次 兵庫 高津 敏三郎 愛知

第二年

和田 萬吉 岐阜 佐野 友三郎 群馬

史學科

第三年

下山 寬一郎 東京

第二年



磯田 良 東京 白鳥庫吉 千葉

米林彦太郎 石川 第一年

小川銀次郎 愛知

博言學科

第二年

林 外吉 福井

英文學科

第一年

立花 政樹 福岡

撰科

哲學科第三年全科

谷本 富 愛媛

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、動物學

丹羽清次郎 滋賀

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、動物學、英語

白木正藏 福岡

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、動物學

關澤純三 栃木

哲學科第一年 史學、動物學

原 桂太郎 石川

哲學科第一年 漢文學、羅甸語、和文學

依田 雄甫 東京

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、動物學、英語

木村 巖 東京

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、動物學、英語、地質學

藤下 啓 證 和歌山

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、英語

得能 文 富山

哲學科第一年 和哲學史、論理學、史學、英語

河島松太郎 石川

哲學科第一年 漢論理學、史學、英語

林 儀一郎 千葉

哲學科第一年 哲學史、論理學、史學

秋元 興朝 東京

哲學科第一年 英語、地質學、日本歷史

尾原亮太郎 島根

和文學科第二年 和文學、博言學、英語、佛語

岡倉由三郎 東京



哲學科第一學年 哲學史、倫理學、史學、和文學、和文學科  
第二學年 哲學史、日本歷史、和文學、日本支那古代法律、支那歷史

史學科第一學年 哲學史、論理學

宮野春雷 廣島  
林辨次郎 長野

史學科第一學年 史學

稻田綱吉 福島

史學科第一學年 哲學史、論理學

島山忠郎 岩手

英文學科第一學年 英語、羅倫語

鈴木安三郎 北海道

英文學科第一學年 哲學史、論理學

石井駒次郎 岐阜

哲學科第二學年 社會學

前波仲尾 福井

第六 理科大學學生及撰科生徒(姓名ノ上ニ印ヲ)

研究科

理學士 長岡半太郎 長崎 理學士 木村駿吉 東京  
理學士 平山信靜 岡 理學士 尖戸一郎 東京  
理學士 北條時敬 石川

數學科

第三年

元田傳 東京 河合十太郎 石川

第二年

杉山岩三郎 愛媛

第一年

森外三郎 石川

星學科

第三年

飯島正之助 靜岡

物理學科

第二年

○大森房吉 東京 水野敏之丞 福岡



鶴田賢治 東京

第一年

奥平市内 京都

化學科

第三年

○池田菊苗 兵庫 小川正孝 愛媛

第二年

羽田清八 東京 市岡太次郎 岐阜

堀池彌太郎 京都

第一年

三原義比 福岡

動物學科

第三年

稻葉昌九 大坂 岸上鎌吉 愛知

植物學科

○三好 岐阜 岡村金太郎 東京

動物學科

第二年

○五島清太郎 大坂 池野成一郎 静岡

第一年

松井敬勝 京都 堀 正太郎 島根

地質學科

第三年

金田猶太郎 大坂

第二年

淺井郁太郎 石川







明治十三年七月卒業

宮崎道三郎 三重 元田肇 大分

村山三郎 石川 大野金三郎 兵庫

入江鷹之助 石川 ×加瀬昶次郎 東京

同 十四年七月卒業

加藤高明 愛知 秋山正議 東京

合川正道 岐阜 ×岡田源太郎 熊本

松野貞一郎 青森 由布武三郎 福岡

鈴木充美 三重 坂口佐吉 新潟

内田三省 千葉

同 十五年七月卒業

土方寧 高知 三崎龜之助 愛媛

砂川雄峻 兵庫 山田喜之助 大阪

×渡邊安積 山口 ×三和親本 岐阜

岡山兼吉 東京 井原師義 山口

同 十六年七月卒業

斯波淳六郎 石川 伊藤悌次 新潟

樋山資之 東京 ×西尾藤市 鳥取

×片山清太郎 東京 關直彦 和歌山

磯部醇 岐阜 小野徳太郎 東京

同 十七年七月卒業

江木衷 山口 奥田義人 鳥取

香坂駒太郎 山形 北代勝 高知

荒川義太郎 東京 石渡敏一 静岡

同 十八年七月卒業

高橋捨六 福井 馬場愿治 福島



松岡郁之進 山口 坪野平太郎 東京  
 莊清次郎 長崎 田上省三 岡山  
 藤田四郎 三重 太田保太郎 東京  
 澁谷懋爾 長崎 平部淳佐久 宮崎

理學士

化學科

明治十年七月卒業

高須祿郎 東京 久原躬弦 岡山  
 宮崎道正 石川

同 十一年七月卒業

磯野徳三郎 福岡 高山甚太郎 石川  
 伊藤新六郎 茨城 平賀義美 福岡

高松豊吉 東京 福田良作 東京  
 ×小林孝一 東京

同 十二年七月卒業

中澤岩太 石川 石藤豊太 廣島  
 肥田密三 静岡 織田顯次郎 静岡

×渡邊鏌次郎 長崎 喜多村彌太郎 東京

同 十三年七月卒業

甲賀宜政 静岡 吉田彦六郎 廣島  
 石川巖 兵庫 守屋物四郎 岡山

渡邊讓 岐阜 松本收 岡山

同 十四年七月卒業

久田督 石川 今井省三 静岡  
 加藤常七郎 千葉 高橋鉉太郎 大阪



明治十五年七月卒業

植田 豐橘 大阪 石川 彌太郎 大阪

澤邊 春水 京都 × 楠 楠三郎 愛媛

同 十六年七月卒業

小出 貫一郎 愛知 岩 淵 鑿 千葉

阪内 冬藏 福島 × 所 谷 英敏 茨城

大石 保吉 高知 吉岡 哲太郎 東京

杉谷 佐五郎 新潟 足立 震太郎 千葉

純正化學科

明治十七年七月卒業

吉武 榮之進 長野 高島 勝次郎 靜岡

同 十八年七月卒業

堀 鉞之丞 愛知 松井 元次郎 大阪

應用化學科

明治十七年七月卒業

增島 文次郎 東京 横地 石太郎 石川

安 藤 格 兵庫

同 十八年七月卒業

坪井 九馬三 東京 村 瀬 光 國 愛知

物理學科

明治十五年七月卒業

田 中 正平 兵庫 藤澤 利喜太郎 新潟

田中 館愛橘 岩手

同 十六年七月卒業

酒井 佐保 高知

同 十七年七月卒業



山口 鏡之助 島根

明治十八年七月卒業

澤 井 廉 岡山 早崎 信太郎 石川

生物學科

明治十四年七月卒業

飯 島 魁 静岡 岩川 友太郎 青森

佐々木 忠次郎 石川

動物學科

明治十五年七月卒業

石川 千代松 静岡

同 十八年七月卒業

箕 作 元 八 東京

植物學科

明治十八年七月卒業

齋田 功太郎 長野

機械工學科

明治十三年七月卒業

坂田 貞一 東京

同 十四年七月卒業

吉田 朋吉 石川 五代 龍作 大阪

同 十六年七月卒業

横井 佐久治 福井 川上新太郎 東京

田邊 三男 島根

同 十七年七月卒業

權田 正三郎 静岡

土木工學科



明治十一年七月卒業

石黒五十二 石川 仙石 貢 高知  
三田善太郎 栃木

同 十二年七月卒業

大森 俊次 山梨 橘 協 石川  
二見鏡三郎 千葉 白井 濟 東京

野尻 武助 東京

同 十三年七月卒業

小柴 保人 千葉 倉田吉嗣 東京  
岡胤 信 東京 日下部辨二郎 東京

青木元五郎 東京 腰塚 英 埼玉

同 十四年七月卒業

白石直治 高知 野村龍太郎 岐阜  
白石直治 高知

同 十五年七月卒業

原 龍太 福島 ×下村三一 兵庫  
土田 鐵雄 石川 石田二男雄 石川  
中原貞三郎 山口 熊倉恭三 新潟  
三浦 健 宮城 長崎 桂 石川

同 十六年七月卒業

中島 銳治 宮城 近藤仙太郎 石川  
大屋 權平 山口 野口嘉茂 東京

同 十七年七月卒業

山崎 鉦次郎 静岡

同 十八年七月卒業

和田 義陸 高知

探鑛冶金學科



明治十二年二月卒業

渡邊 渡 東京

同 十二年七月卒業

河野 鯨雄 熊本 岡田 一三 石川

同 十四年七月卒業

堀田 連太郎 長野

同 十五年七月卒業

野呂 景義 愛知 原田 慎治 愛知

大木 良直 東京 和田 義軌 高知

大谷 木喬 高知

同 十六年七月卒業

山縣 脩 山口 松田 武一郎 東京

永田 貞祥 愛知 中野 嘉作 石川

同 十七年七月卒業

石川 直記 三重

同 十八年七月卒業

山田 直矢 鹿兒島 田島 晴雄 山形

地質學科

明治十二年七月卒業

小藤 文次郎 島根

同 十三年七月卒業

巨智 部忠承 長崎 山下 傳吉 埼玉

西 松次郎 長崎

同 十四年七月卒業

富士谷 孝雄 東京

同 十五年七月卒業



橫山又次郎 長崎 中島謙造 大阪  
山田皓 廣島

明治十六年七月卒業

鈴木敏 東京 菊池安 茨城

同 十七年七月卒業

三浦宗次郎 群馬

同 十八年七月卒業

奈佐忠行 靜岡 多田綱宏 岩手

數學科

明治十七年七月卒業

高橋豐夫 山形

同 十八年七月卒業

北條時敬 石川 熊澤鏡之助 愛知

物理學科(佛語)

明治十一年十二月卒業

寺尾壽 福岡 千本福隆 東京

信谷定爾 東京 中村恭平 愛知

櫻井房記 石川

同 十二年七月卒業

難波正 岡山 中村精男 山口

谷田部梅吉 秋田 和田雄次 福島

鯨島晋 新潟 高野瀨宗則 滋賀

×豐田周衛 廣島

同 十三年七月卒業

三輪桓一郎 東京 三守守 德島

桐山篤三郎 長崎 鹽田仁松 廣島



小林有也 大阪 ×澤野忠基 滋賀  
玉名程三 長崎 保田棟太 大分

醫學士

明治九年卒業

河野貫道 岡山 吉田貞準 石川  
大多和七郎 鹿兒島 濱野昇 千葉  
石川仲詮 新潟 室賀錄郎 長野  
須田哲造 長野 山崎泰輔 靜岡  
三瀨謙三 山形 山崎玄脩 新潟  
岡玄卿 大阪 原田豐 茨城  
宇野朗 靜岡 菅野順 東京  
松澤元貞 靜岡 三浦省軒 東京

野口安次 山口 渡邊悌次郎 石川  
長谷川順次郎 新潟 三浦浩一 滋賀  
小野敦善 山口 櫻井郁次郎 群馬  
中村良益 秋田 印東玄得 和歌山  
大川宗炳 千葉

同 十二年卒業

×清水郁太郎 廣島 佐々木政吉 東京  
新藤二郎 愛知 鳥瀉恒吉 秋田  
清野勇 靜岡 大森治豐 山形  
田澤敬興 北海道 ×梅錦之丞 島根  
河野衢 熊本 石黒宇宙次 新潟  
片山國嘉 靜岡 野並魯吉 高知  
佐々木文蔚 青森 熊谷省三 山口



熊谷玄旦	山口	佐藤一之助	東京
魚住完治	石川	高階經本	京都
×神内由己	愛媛	半井英輔	山口
明治十三年卒業			
濱田玄達	熊本	小金井良精	新潟
緒方正規	熊本	榊俣	東京
伊藤盛雄	東京	小林廣	栃木
伴野秀堅	静岡	伊勢錠五郎	愛知
杉田雄	静岡	長尾精一	愛媛
弘田長	高知	神田知二郎	京都
鈴木孝之助	愛知	石川公一	東京
沼浪貞吉	岐阜	菅之芳	東京
外山林助	新潟		

同 十四年卒業

三浦守治	東京	高橋順太郎	石川
中濱東一郎	高知	伊部 舜	千葉
佐藤佐	千葉	片山芳林	長野
甲野 梨	新潟	森林太郎	東京
小池正直	山形	熊谷幸之助	秋田
山縣直吉	山口	山形 仲藝	石川
猪原吉郎	静岡	谷口 謙	東京
森永友健	長崎	覆本與七郎	東京
中村正道	長野	佐野龍太郎	東京
奈良坂源一郎	宮城	菊池常三郎	長崎
新宮涼亭	京都	神保文輔	東京
加古鶴所	千葉	魚住以作	石川



明治十五年卒業

熊谷茂樹	小倉開治	朝川順三	富永伴五郎	猪子止戈之助	柴田勝央	佐藤三吉	野川次郎	坂本常長	飯田信順	長町耕平
山口	福井	靜岡	千葉	兵庫	石川	岐阜	岐阜	神奈川	千葉	愛媛
西郷吉義	吉益政清	田代正	太田彌太郎	佐藤廉	瀬川昌耆	青山胤通	古川榮	高木文種	島田完吾	江口襄
長野	石川	東京	東京	栃木	東京	東京	長崎	長崎	長崎	栃木
									鹿島武雄	及川真吾

同十六年卒業

中山專太郎	蒲島堅吉	池田陽一	磯藤為信	齋藤仙也	河本重次郎	内田守一	相磯慥	戸塚卷藏	遠藤洋	齋藤仙也	緒方收二郎
大坂	長崎	長崎	栃木	京都	兵庫	徳島	靜岡	靜岡	靜岡	京都	大坂
緒方太郎	山根文策	高橋盛寧	北里柴三郎	川原汎	大谷周菴	隈川宗雄	山根正次	神中正雄	吉田興三		芳村晋
大坂	山口	愛媛	熊本	長崎	東京	東京	山口	和歌山	京都		岡山



木村孝藏	尾澤圭一	岩佐登彌太	千原春甫	南二郎	淺田決	明治十七年卒業	村田謙太郎	淺山郁次郎	本田忠夫	榎方隆	栗本東明	萩生錄藏
福井	東京	東京	島根	福島	三重		福島	京都	栃木	宮城	山形	静岡
佐々木曠	川俣四男也	鶴崎平三郎	劉小一郎	眞部於菟也	黒柳精一郎		×松崎廉	宮下俊吉	長谷川寛治	×木島玄雲	山崎兵四郎	岡文藏
福井	栃木	長崎	京都	大坂	福井		兵庫	東京	新潟	長崎	石川	群馬

山本次郎平	同十八年卒業	柏村貞一	馬杉則知	澤邊保雄	天谷千松	星野秀太郎	奥田道有	大西秀治	日高昂	原田元貞
埼玉		山口	京都	京都	静岡	長野	東京	群馬	宮崎	長崎
		坪井次郎	井上平造	佐野譽	高木友枝	鎌田滿太郎	稻野權三郎	菅沼貞吉	原長氏	佐賀
		東京	京都	静岡	福島	徳島	愛知	福井		

製藥士



明治十一年卒業

下山順一郎 愛知 丹波敬三 兵庫

×吉田學 熊本 小山哉 熊本

高橋三郎 静岡 高橋増次郎 長野

丹羽藤吉郎 佐賀 ×三村徳太郎 岐阜

納富嘉博 長崎

同 十二年卒業

櫻井小平太 東京 曾根次郎 山口

藤本理 愛知 乃美辰一 山口

島田耕一 長崎 山田董 石川

溝口恒助 秋田 八木長恭 群馬

高橋秀松 山形 細井修吾 石川

同 十四年卒業

日野政太 山口 田原良純 長崎

曲淵景章 東京 町田紳 埼玉

藤川次郎 東京 齋藤寛猛 岩手

松尾周藏 兵庫 大前寛忠 東京

片山吉則 島根

同 十五年卒業

柴山正秀 東京 安香堯行 静岡

八木秀太郎 愛知 平山増之助 千葉

中西司馬 愛知

同 十六年卒業

藏田忠介 山口

准醫學士







明治十七年七月卒業

(政) 坂谷芳郎	岡山	(政) 理中川恒次郎	大坂
(同) 久米金彌	東京	(同) 濱田健次郎	大坂
(同) 平沼淑郎	岡山	(同) 土子金四郎	東京
(同) 添田壽一	福岡	(同) 藤山裕二	山口
(同) 加藤彰廉	愛媛	(同) 春日秀朗	東京
(同) 原川權平	東京	(同) 杉江輔人	廣島
(和) 漢棚橋一郎	東京		
同 十八年七月卒業			
(哲) 井上圓了	新潟	(政) 理金井延	静岡
(政) 理長崎剛十郎	鹿児島	(同) 黒川雲登	埼玉
(同) 三原經國	鹿児島	(同) 本間六郎	静岡

第二 工部大學校卒業

工學士

土木工學科

明治十二年十一月卒業

南	清	青森	石橋	絢彦	静岡
同 十三年五月卒業					
小林八郎	山口	遠邑	容吉	千葉	
又 太田六郎	静岡	千種	基三	三重	
澁谷競多	群馬	飯塚	義光	東京	
佐伯敦崇	愛媛				
同 十四年五月卒業					
佐藤成教	北海道	香取	多喜	静岡	
足助好生	大阪	江森	盛孝	福島	



屋代 傳 山形 高田雪太郎 熊本

明治十五年五月卒業

大島 仙藏 鹿兒島 野邊地久記 京都

笠井愛次郎 東京 植木平之允 山口

吉川三次郎 岐阜 吉本龜三郎 愛媛

同 十六年五月卒業

渡邊 嘉一 東京 田邊 朔郎 静岡

河野 天瑞 兵庫 宮城島庄吉 静岡

小田川全之 静岡 山口準之助 東京

河野十三郎 廣島 上山 基 石川

清水 保吉 岐阜 船曳 甲 京都

同 十七年五月卒業

久米民之助 群馬 久米民之助 群馬

古川 阪次郎 東京 小川 東吾 茨城

同 十八年四月卒業

吉村 長策 大阪 相澤 時正 東京

友成 仲 静岡 牧野 實 福井

福岡清一郎 佐賀

機械工學科

明治十二年十一月卒業

×高山 直質 熊本 三好 晋六郎 東京

荒川 新一郎 山口 今田 清之進 山口

宮崎 航次 東京

同 十三年五月卒業

安永 義章 長崎 原田 虎三 千葉

坂 港 静岡 佐立 次郎 愛媛



竹田	關太郎	山口	野上	由貞	東京
藤田	重道	青森	岡實	康長	長崎
吉見	九郎	山口	早田	喜勉	長崎
家入	安熊	熊本			

明治十四年五月卒業

臼井	藤一郎	静岡	服部	俊一	山口
眞野	文二	静岡	貴志	泰静	静岡
内藤	政共	東京	栗屋	新三郎	山口
子安	雅	岐阜	田中	林太郎	長崎

同十五年五月卒業

井口	在屋	石川	中原	淳藏	熊本
川井	清三郎	静岡	齋藤	恒三	山口
香阪	季太郎	山形	栗塚	又郎	埼玉

同十六年五月卒業

水上	彦太郎	東京	稻垣	銓平	新潟
岩崎	彦松	京都			

同十八年四月卒業

進	經太	山口	菊池	恭三	愛媛
畑	精吉郎	兵庫			

造船學科

明治十六年五月卒業

×龜田	末道	三重	岩田	善明	岡山
小山	吉郎	新潟			

同十七年五月卒業

福田	馬之助	愛知	杉谷	安一	佐賀
青木	恭	東京			



明治十八年四月卒業

松尾鶴太郎 佐賀 小西慎三郎 長崎

電氣工學科

明治十二年十一月卒業

志田林三郎 佐賀

同 十三年五月卒業

岩田武夫 静岡

同 十四年五月卒業

藤岡市助 山口 熊倉興作 東京

中野初子 東京 淺野應輔 廣島

飯田格之助 茨城 柏村孝正 山口

同 十五年五月卒業

大井才太郎 三重 山川義太郎 埼玉

同 十六年五月卒業

森島剛太郎 福岡 五十嵐秀助 山形

坪井孚 山口 岩垂邦彦 福岡

同 十六年五月卒業

×小高梅三郎 大坂 玉木辨太郎 京都

永山廉太郎 石川 長谷川 廷 大坂

神田選吉 山口

同 十七年五月卒業

青木大三郎 千葉

應用化學科

明治十二年十一月卒業

高峯讓吉 東京 森省吉 高知

中村貞吉 東京 深堀芳樹 長崎

岸真二郎 埼玉



明治十三年五月卒業

築山 鏘太郎 熊本 今井 善一 石川

二宮 正 静岡

同 十四年五月卒業

河喜多 能達 熊本 松平 忠太郎 福井

堺 和為 昌 岡山

同 十六年五月卒業

清水 鐵吉 岐阜 藤井 恒久 石川

同 十七年五月卒業

下瀬 雅允 廣島 川波 虎太郎 長崎

志築 岩一郎 長崎 細川 俊茂 東京

同 十八年四月卒業

石川 吉次郎 静岡 緒方 三郎 大坂

造家學科

明治十二年十一月卒業

辰野 金吾 佐賀 片山 東熊 山口

曾禰 達藏 佐賀 佐立 七次郎 愛媛

同 十三年五月卒業

藤本 壽吉 大分 渡邊 讓 神奈川

同 十四年五月卒業

×坂本 復經 佐賀 久留 正道 東京

小原 益知 東京

同 十五年五月卒業

新家 孝正 静岡 鳥居 菊助 愛知

中村 達太郎 東京

同 十六年五月卒業



船越 欽哉 長野 瀧 大吉 大分  
森川 範一 長崎 吉井 茂則 高知

明治十八年四月卒業  
渡邊 五郎 大坂

鑛山學科

明治十二年十一月卒業

×近 藤 貴藏 熊本 麻生 政包 佐賀

同 十三年五月卒業

沖 龍 雄 廣島 桑 原 政 茨 城

吉原 政道 長崎 松 下 親 業 東 京

仙 石 亮 石川 狐 崎 富 教 岩 手

山 田 欽 一 山口 近 藤 陸 三 郎 靜 岡

牧 相 信 熊本

同 十四年五月卒業

藤 野 幸 造 山口 菅 田 繁 島 根

世 冨 梯 造 神奈川 都 野 豐 之 進 山 口

林 賴 二 郎 山口 石 橋 政 信 靜 岡

永 井 久 太 郎 靜 岡 佐 藤 通 山 形

同 十五年五月卒業

×宮 崎 可 吉 大坂 的 場 中 三 重

石 田 收 石川 神 田 禮 治 岐 阜

三 田 守 一 靜 岡 大 島 六 郎 東 京

小 杉 轍 三 郎 和歌山 春 原 隈 次 郎 長 野

同 十六年五月卒業

山 縣 宗 一 山口 藤 岡 作 二 郎 京 都

鈴 木 錄 之 助 東 京 松 田 榮 一 靜 岡



明治十七年五月卒業

大原順之助 兵庫 大坪一郎 福岡

齋藤精一 長崎 島田研六 長崎

間宮伊賀次郎 東京 日高偉太郎 静岡

笠原鷺太郎 新潟 山口四郎 岡山

同 十八年四月卒業

河相保四郎 廣島 黒田正暉 愛媛

中村武治 和歌山 石坂勤一郎 岡山

秋山長明 福井

冶金學科

明治十二年十一月卒業

小花冬吉 東京 栗本廉 静岡

同 十三年五月卒業

高島米八 東京

同 十四年五月卒業

野邊七郎 鹿兒島

卒業學生(△印ハ三等卒業ノモノ)

土木工學科

明治十二年十一月卒業

△杉山輯吉 千葉

同 十三年五月卒業

×寺内義貞 熊本

同 十四年五月卒業

△山内市太郎 東京

同 十五年五月卒業

伊藤隆三郎 長野 神原伊三郎 東京



明治十六年五月卒業

×勝間 金太郎 大坂

機械工學科

明治十四年五月卒業

須田 利信 鹿兒島

同 十六年五月卒業

大竹 多氣 北海道

近藤 基樹 三重

電氣工學科

明治十三年五月卒業

中山 信順 東京

應用化學科

明治十二年十一月卒業

鳥居 然夫 東京

同 十三年五月卒業

田邊 英之助 山口

△林 糾四郎 静岡

同 十五年五月卒業

乾 立夫 熊本

△小幡 琢十 山形

同 十六年五月卒業

池田 政正 東京

造家學科

明治十五年五月卒業

×宮原 石松 島根 河合 浩藏 静岡

同 十六年五月卒業

△吉澤 友太郎 石川



鑛山學科

明治十三年五月卒業

小鹿島 果 長崎 荒川 已次 鹿兒島

同 十四年五月卒業

×張 房 健 長崎

同 十七年五月卒業

阿部 正義 東京

冶金學科

明治十五年五月卒業

喜多村 寬治 靜岡

第三 帝國大學卒業

法學士

明治十九年七月卒業

法律學科(第一科)

植村 俊平 山口 戶水 寬人 石川

岡野 敬次郎 東京 生沼 永保 東京

榊原 幾久若 愛知 澤崎 賴之助 京都

伊東 祐德 佐賀 乾 孚志 熊本

羽生 顯親 茨城 中野 省吾 新潟

政治學科

嵯峨 根不二郎 鹿兒島

同 二十年七月卒業

法律學科(第一科)



宮岡恒次郎 東京 石井常英 佐賀  
高橋覺 山口

政治學科

一木喜徳郎 靜岡 内田康哉 熊本  
早川千吉郎 石川 林權助 福島  
淺田知定 福岡 林田龜太郎 熊本  
鈴木馬左也 宮崎 大場寛一 東京

明治二十一年七月卒業

法律學科英吉利部

平沼騏一郎 東京 平田讓衛 岡山  
柴原龜二 兵庫 小出鈿太郎 東京  
鹽谷恒太郎 東京 棚橋愛七 東京  
小松謙次郎 長野 永井久滿次 愛知

鈴木宗言 岡山 柿崎欽吾 東京  
佐藤信 山口

法律學科佛蘭西部

城數馬 福岡 横田秀雄 長野  
兩角彦六 長野 太田峯三郎 福岡  
田代律雄 熊本 柿原武熊 佐賀  
木下友三郎 和歌山 大倉鈕藏 三重  
上條慎藏 長野 遠藤忠次 靜岡  
松平信英 東京 市川勝之助 東京  
福井清石 福岡 齋藤浩躬 熊本  
龜井英三郎 熊本 川田正根 高知  
板倉松太郎 東京 野田藤吉郎 佐賀  
堀三友 山形 草鹿甲子太郎 石川



中島	靜甫	佐賀	水本	豹吉	東京
藤田	重守	青森	龜山	直秀	東京
石尾	一郎助	佐賀	津田	藤麿	千葉
板垣	不二男	山形	玉置	慶次郎	東京
山本	録之助	東京	町田	重備	東京
原	誠一	靜岡	應	當衡	福岡
石川	錦一郎	靜岡	渡邊	輝之助	東京
瀧田	四郎	福島			

明治二十一年七月卒業

政治學科

木内	重四郎	千葉	松崎	藏之助	千葉
伊藤	主計	愛媛	野村	虎次郎	岐阜
日置	益三	三重	原口	敏行	佐賀

宮崎	政吉	佐賀	武井	才次郎	東京
薄	定吉	岡山	戶澤	鼎	長野
竹村	欽次郎	山形	山口	莊吉	大阪
大浦	佐助	鹿兒島			

醫學士

明治十九年卒業

堤	宗卿	群馬	更井	久庸	岡山
二宮	誠一郎	山形	鈴木	愛之助	神奈川
楠	正任	高知	小川	三之助	千葉
伊東	重	青森	木村	武五郎	宮城
柳	琢藏	山口	齋藤	春香	兵庫
内田	萬平	靜岡	佐藤	恒久	東京



明治二十年卒業

池原康造	栗木庸勝	檜林國三郎	高安右人	瀨尾原始	猪子吉人	岡田國太郎	常持爲治	水野廉平	島田武次	三田久泰	桂秀馬
東京	山形	長崎	東京	新潟	兵庫	滋賀	大坂	山形	山口	佐賀	新潟
鳥居春洋	馬島永徳	有松戒三	高山尙平	太田弘安	廣瀬佐太郎	柏原長英	三輪徳寛	武田坦	高畑挺三	花房道純	松井秀二郎
山形	東京	福岡	岡山	青森	京都	愛媛	愛知	福井	愛媛	福井	東京

同二十一年七月卒業

甲野泰造	大澤嶽太郎	三浦謹之助	神吉翁次郎	土岐文二郎	渡邊棟三郎	保利聯	島村俊一	屋代善夫	山田謙治	山崎幹	保利眞直
新潟	愛知	福島	兵庫	石川	大分	佐賀	東京	群馬	熊本	愛知	佐賀
大西克孝	江馬賤男	芳賀榮次郎	布施頑二	山村直次郎	足立健三郎	牧山建吉	竹中成憲	牧田安藏	撫養圓太郎	井上豊作	北村徐雲
愛媛	岐阜	福島	新潟	埼玉	島根	東京	東京	京都	徳島	神奈川	兵庫



阪田快太郎	岡山	千葉稔次郎	山口
松村三省	東京	能勢靜太	岡山
宍道弘一	山口	大西小三太	福井
宇山道碩	東京	匹田復次郎	兵庫
柴田耕一	静岡	關成治	東京
高橋剛吉	滋賀	堀内篤藏	京都
小山龍徳	熊本	山田岩次郎	新潟
波多野惇	神奈川	上原直之進	鹿兒島
生駒龍太郎	群馬	佐々木達	福井
川瀬泰輔	秋田	森友道	千葉
加藤吉忠	東京	小池亮琢	山形
宍戸宗之助	福島		

工學士

土木工學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

武笠清太郎	滋賀	佐分利一嗣	廣島
菅原恆覽	岩手	小川梅三郎	愛知
小山友直	宮城	久野知義	愛知
上田敏郎	静岡	黒田豊太郎	岐阜
鳥越金之助	鹿兒島		

元工藝學部學生

小林柏次郎	鳥取	谷村太刀馬	東京
-------	----	-------	----

明治二十年七月卒業

近藤虎五郎

新潟

東京

渡邊信四郎

東京



南部常次郎	新潟	長崎	豐十郎	鹿兒嶋
渡邊秀次郎	三重	山口俊太郎	佐賀	
林正枝	德島	井上德次郎	兵庫	

明治二十一年七月卒業

中山秀三郎	愛知	野口久米馬	愛媛	
村上享一	愛媛	吉原重長	鹿兒嶋	
工藤謙	青森	大窪正	石川	
野澤房敬	静岡	岸金三郎	愛知	
用瀬松太郎	東京	谷井鋼三郎	東京	
戸谷亥名藏	東京	山上正夫	岡山	
沖一誠	鹿兒嶋			

機械工學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

渥美貞幹	群馬	宇都宮貫一	東京
------	----	-------	----

元工藝學部學生

下山秀久	埼玉	大平松二郎	東京
------	----	-------	----

渡邊隆	岡山	鈴木千代吉	山形
-----	----	-------	----

同二十年七月卒業

廣田理太郎	廣嶋
-------	----

同二十一年七月卒業

朝永正三	長崎	高井助太郎	福井
------	----	-------	----

造船學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

田中泰董	愛媛
------	----



明治二十年七月卒業

福地文一郎 佐賀

渡邊享長 長野

白戸隆久 東京

伊藤辰吉 石川

同二十一年七月卒業

高倉作太郎 新潟

上野富一 山口

電氣工學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

林 靜 介 山口

同二十年七月卒業

丹羽正道 愛知

兒玉隼雄 山口

同二十一年七月卒業

三宅順祐 京都

阪内虎次 東京

造家學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

田 中 豐 輔 鹿兒島

同二十一年七月卒業

中 濱 西次郎 東京

應用化學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

大久保親誠 茨城

市川俊雄 東京

元工藝學部學生

市野金三郎 東京

明治二十年七月卒業



土井助三郎 東京 森山益夫 東京  
同二十一年七月卒業

細木松之助 兵庫 中川五郎吉 愛知

坪井僊太郎 岐阜 生田義助 山口

須藤嘉一郎 新潟 山寺容磨 長野

渡邊健雄 大阪 齋藤賢治 東京

梅野兵太郎 長崎 若山由五郎 千葉

岡島好彦 鳥取

鑛山學科

明治十九年七月卒業

元工部大學校學生

米倉清族 佐賀 大日方一輔 長崎

探鑛冶金學科

明治十九年七月卒業

元工藝學部學生

山田文太郎 福井

同二十年七月卒業

石田八彌 東京 渡邊芳太郎 愛知

同二十一年七月卒業

恩田宮五郎 愛知 堀悌三郎 東京

秋山義一 福島 内田清太郎 秋田

文學士

哲學科

明治十九年七月卒業

日高眞實 宮崎 長澤市藏 山梨



明治十九年十二月卒業

坂倉銀之助 愛知

同 二十年七月卒業

德永滿之 愛知

梅本順三郎 東京

同 二十一年七月卒業

澤柳政太郎 長野

和文學科

明治十九年七月卒業

戸田恆太郎 山口

同 二十一年七月卒業

上田萬年 愛知

理學士

物理學科

明治十九年七月卒業

平山順 静岡

同 二十年七月卒業

長岡半太郎 長崎

同 二十一年七月卒業

木村駿吉 東京

化學科

明治十九年七月卒業

牧野清利 東京

動物學科

明治十九年七月卒業

坪井正五郎 静岡



明治二十一年七月卒業

実戸 一 郎 東京

植物學科

明治十九年七月卒業

白井光太郎 東京 大谷津直麿 神奈川

同 二十年七月卒業

柘植千嘉衛 福岡

地質學科

明治二十年七月卒業

神保小虎 静岡 大塚專一 岐阜

同 二十一年七月卒業

松島鉦四郎 静岡 柴田初治郎 愛知

數學科

明治二十一年七月卒業

狩野亨吉 秋田

星學科

明治二十一年七月卒業

平山信 静岡 蘆野敬三郎 東京

○學生及撰科生徒現數

大學院 二十三人

小計二十三

法科大學 四人

研究科 四人

法律學科 百六十七人

內 第一部 三百三十一人  
第二部 三十一人  
第三部 六人



政治學科	五十七人
撰科	四十八人
小計	二百七十六人

醫科大學

研究科	三人
-----	----

卒業受驗生	四十七人
-------	------

醫學科	百五十四人
-----	-------

藥學科	七人
-----	----

撰科	三十五人
----	------

小計	二百四十六人
----	--------

工科大學

土木工程學科	三十二人
--------	------

機械工學科	八人
-------	----

造船學科	六人
------	----

造兵學科	一人
------	----

電氣工學科	六人
-------	----

造家學科	六人
------	----

應用化學科	八人
-------	----

火藥學科	一人
------	----

採鑛冶金學科	四人
--------	----

撰科	十九人
----	-----

小計	九十一人
----	------

文科大學

研究科	二人
-----	----

哲學科	十一人
-----	-----

和文學科	四人
------	----



史學科	五	人
博言學科	一	人
英文學科	一	人
撰科	二十一	人
理科大學	小計四十五	人
研究科	五	人
數學科	四	人
星學科	一	人
物理學科	四	人
化學科	六	人
動物學科	二	人
植物學科	二	人

○學士及卒業生員數

動植物學科	四	人
地質學科	二	人
撰科	六	人
小計	三十六	人
總計七百十七人	內	重出十三人 實員七百四人
卒業受驗生	四十七	人
內學徒	五百四十一	人
生	百二十九	人
實員	五百二十八	人
法學士	百四十三	人
醫學士	二百五十八	人
工學士	二百六十七	人



文學士	五十六人
理學士	百六十六人
製藥士	三十四人
准醫學士	六人
工部大學校卒業生	二十四人
總計	九百五十四人
內	重出九百一十六人
死員	三十七人

附錄

明治二十一年七月十日卒業證書授與式ノ節帝國大學總長演說  
 親王殿下我諸大臣及外國公使各位閣下並内外ノ紳士諸君本日ハ帝國  
 大學第三回ノ卒業證書授與式ヲ舉行スルノ佳辰ニシテ五分科大學ノ  
 卒業學生ハ積年勤學ノ功勞ニ依リ其最貴重スヘキ卒業證書ヲ受領セ  
 リ本官ハ此盛典ヲ祝シ且ツ例ニ沿フテ本學年中ノ概況ト來學年ノ豫  
 圖トヲ述テ以テ本學職員及來賓諸君ニ報道スルハ其職務ナリト考フ  
 ルノミナラス自ラ歡喜ニ堪ヘサル所ナリ

法科大學ハ法律學科ニ於テ獨逸部ヲ新設シ該學科ノ第一科及第二科  
 ノ稱謂ヲ廢シ單ニ法律學科ト爲シ之ヲ英吉利部佛蘭西部及獨逸部ノ  
 三部ニ支分セリ教授ノ更迭ヲ舉ルニ教授兼教頭穗積陳重ハ專ラ教授  
 ノ本務及學問ニ從事セント欲スルノ情願ニ依リ教頭ノ兼任ヲ解カレ  
 外務省取調局長鳩山和夫教授兼教頭ニ任セラレテ之ニ代リ其授業ハ



國際法私犯法ヲ擔任ス代言人法學士增島六一郎岡山兼吉ノ二氏及控  
 訴院評定官法學士藤田隆三郎松野貞一郎ノ二氏ニ民刑訴訟手續ノ實  
 地演習任意教導ヲ囑托シ且ツ橫濱始審裁判所長岡村輝彦ニ證據法講  
 義ヲ外務省翻譯局次長小村壽太郎ニ英吉利刑法講義ヲ囑托セリ獨逸  
 國留學滿期ニ付歸朝シタル法學士斯波淳六郎教授ニ任セラレ來學年  
 ヨリ行政法及國際法ヲ擔任セントス本學年卒業ノ學生ハ法律學科英  
 吉利部ニ十一名同佛蘭西部ニ三十五名政治學科ニ十三名通計五十九  
 名ナリ此內法律學科ノ卒業生ハ殆ト皆司法省ヨリ引繼キタル給費生  
 及同省ノ貸費生ニシテ司法官試補ニ任用セラルヘキ者ナリ前學年ノ  
 卒業生ハ十一名ニシテ一名ハ大學院ニ入り二名ハ司法省ニ三名ハ外  
 務省ニ四名ハ內務省ニ一名ハ內閣法制局ニ就職シタリ學科課程ノ改  
 正ハ其主要ナルモノヲ舉レハ法律學科及政治學科ニ於テ法學通論ヲ  
 削除シテ之ヲ高等中學校本科ノ課程ト爲スニ在リ蓋シ學生ノ大學ニ

入りタル後ハ專門ノ學科ヲ修ムルニ夥多ノ時間ヲ要シ頗ル餘暇ニ乏  
 ク且ツ豫メ法學ノ大意ヲ學ブニアラサレハ法學專門各科ノ講義ヲ聽  
 聞スルモ了解シ難キカ故ニ此改正ノ必要ヲ認メタレハナリ前學年中  
 私立法律學校特別監督條規ノ設定ニ依リ本學ハ府下私立法律學校ノ  
 內首重ナル五校ノ監督ヲ擔任セシニ廿一年五月文部省令第三號ヲ以  
 テ特別認可學校規則發布ニ付該監督條規ヲ廢セラレ該五校ノ監督ヲ  
 解カル法科大學ハ學生益増加シ其旺盛ヲ見ルノ時運ニ遭遇セリ來學  
 年入學スヘキ者八十四名アリ  
 醫科大學ニ於テハ醫學科須要ノ各學科粗整頓スルニ至リ而シテ本學  
 年ヨリ新設ノ藥學科ヲ開始セリ留學滿期ニ付獨逸國ヨリ歸朝シタル  
 製藥士下山順一郎同丹波敬三藥學科ノ教授ニ任セラレ又醫學士青山  
 胤通ハ內科學醫學士佐藤三吉ハ外科學ノ教授ニ任セラレタリ此兩氏  
 モ獨逸國留學期滿ツルヲ以テ歸朝シタルナリ又助教教授醫學士村田謙



太郎ハ依願本官ヲ免セラレ皮膚病黴毒學專修ノ爲メ獨逸國及澳國留學ヲ命セラレタリ外國教師ドクトル、スクリバハ廿一年七月任期滿ツルヲ以テ一時歸國ヲ許諾シ更ニ廿二年九月十一日ヨリ再任ヲ約スルヲ決セリ同氏ノ擔當セシ外科各論及臨床講義ハ新任教授醫學士佐藤三吉代リテ之ヲ擔任ス第一醫院ニ於テハ廿年十月英人アグニース、エツチ女ニ看病法講義及看術實地練習ヲ囑托シ續テ看病婦見習生ヲ募集シテ其授業ヲ始メタリ新設藥學科ハ未タ其學科ノ必要ヲ感スルヲ淺キカ故ニ入學志願者ノ僅少ナルヲ以テ之ヲ獎勵センカ爲メ醫科大學ニ於テ貸費生一名ヲ置キ且ツ舊東京大學ノ製藥士ハ義金ヲ集シテ貸費生一名分ノ金額ヲ寄贈セリ從來醫科大學ハ裁判醫學實地演習ノ資料ヲ欠キ遺憾ト爲シタルニ司法省ハ東京始審裁判所ノ醫務ヲ同學ニ托センヲ協議シタルニ依リ之ヲ諾セリ必ス該學科授業上ノ便益ヲ得ルヲアルヘシト信ス本學年卒業ノ學生ハ醫學科廿九名ナ

リ前學年卒業ノ學生ハ大學院ニ入り或ハ醫科大學ノ助手ト爲リ高等中學校醫學部ノ教諭ニ任セラレ地方ノ病院長ト爲リ陸軍軍醫ノ職ニ就ク等皆各其位置ヲ得タリ本學年卒業生ノ如キモ既ニ卒業試問ヲ完成シ假卒業證書ヲ得テ其職ニ就キタルモノ多シ此他本學年ニ於テ別課醫學生ノ卒業シタル者七十四名アリ茲ニ特ニ一言ヲ述フヘキモノアリ廿一年五月廿九日

皇后陛下帝國大學へ行啓殊ニ第一醫院ノ施術場及病室ヲ熟覽アラセラルレ辱クモ各患者ノ病狀ヲ悉ク親問アリテ幼童ニハ手ヲ玩弄物ヲ賜リ且ツ患者ノ費用トシテ金三百圓ヲ賜フ聖恩ノ優渥ナル誰カ歡喜ノ情ニ堪フルモノアラヤ本學ニ於テハ恩賜金ヲ最有益ナル費途ニ充テントテ謀リ本會計年度内給費患者延人員九百名ヲ増加シ貧者ノ病患ヲ救濟シ實驗醫學ノ進歩ヲ助ケンヲ期ス來學年ニ於テハ醫學科ノ課程ニ多少ノ修正ヲ加ヘ產科婦人科及裁判醫學ノ各專門教授ヲ置



キ小兒科臨床講義ヲ開カントス第二醫院ハ從來別課醫學生徒ノ爲メニ設立シタルモノニシテ來學年ニ於テ該課ノ生徒ハ悉ク卒業シ該課ヲ廢止スヘシト雖モ該院ハ繼續開設シテ正科學生ノ用ニ供セントス又醫院給費患者ノ臨床講義等授業ノ用ニ供スル人員ハ百十名ノ定員ナルニ經費ノ都合ニ依リ五十名ヲ常置シタルモ來會計年度ヨリ更ニ二十名ヲ増加シ七十名ト爲サントス醫科大學ニ於テハ各教室ニ於テ學術攻究ノ成績ヲ得タルモノ少カラス帝國大學紀要醫科ノ部ニ掲載シテ之ヲ汎ク内外ニ頒布セリ

工科大學ハ鐵道造船水道造家製作鑛山等ノ事業陸續各地ニ起リ技師ノ需要頓ニ増加シタルヲ以テ其卒業生ハ之ヲ供給スヘキ人員ニ乏ク益該大學諸學科ノ必要ヲ感スルニ至レリ學科課程ハ前學年ニ於テ衛生工學造兵學及火藥學ヲ新設シ其他二三ノ修正ヲ爲セシテ以テ本學年ニ於テハ變更スル所ナシ本郷本學構内ニ新築スル校舍既ニ落成シ

方サニ該大學ノ移轉ニ着手シ來學年ヨリ此新校舍ニ於テ授業ヲ爲サントス教員ノ進退ヲ舉グルニ造船學教授櫻井省三海軍省ノ職務ヲ帶ヒ海外ニ旅行スルヲ以テ其任ヲ解キ海軍少技監若山鉸吉ヲ以テ之ニ代ラシム教授山田要吉東京職工學校ノ教諭ニ轉シ海軍少技監宮原二郎陸軍大學校教授天野富太郎造兵造機學教授ニ兼任セラレ其他講師及助教ノ更迭スルモノアリ又助教授工學士中野初子ハ依願本官ヲ免セラレ電氣工學專修ノ爲メ米英兩國留學ヲ命セラレタリ本學年卒業ノ學生ハ土木工學ニ十三名機械工學造船學電氣工學ニ各二名造家學ニ一名應用化學ニ十一名採鑛冶金學ニ四名通計三十五名ナリ前學年卒業學生十九名ノ内官廳ニ就職シタルモノ四名學校ノ教員ト爲リタル者三名工業會社ノ技師ト爲リタル者七名工事監督家ト爲リタル者一名海外ニ留學スル者四名ナリ

文科大學ニ於テハ前學年卒業證書授與式ノ際陳述セシ如ク本學年



リ史學英文學獨逸文學ノ三科ヲ新設シ其他學科課程ヲ修正シタル者アリ來學年ニ於テハ學科課程ノ修正ヲ要スルノ豫圖ナク只史學科中ニ日本歴史ノ一科ヲ加ヘントス教員進退ハ本學年ニ於テ内閣修史局編修長重野安繹ニ日本歴史ノ講義ヲ囑托シ講師文學士日高眞實ハ教育學專修ノ爲メ獨逸國留學ヲ命セラレ其他一二講師ノ更迭スルモノアリシノミ本學年卒業ノ學生ハ哲學ニ一名和文學ニ一名通計二名ナリ該大學ハ萬般ノ學理ヲ統一スル重要ノ學術ヲ教授スルニモ拘ハラズ連年此ノ如ク卒業生ノ少ナキハ實ニ浩歎ニ堪ヘサル所ナリ古典講習科ハ國書課ニ十七名漢書課ニ十六名ノ卒業生ヲ出タセリ該科ハ更ニ生徒ヲ募集セス本學年ヲ限り之ヲ廢止ス前學年卒業學生ノ内二名ハ大學院ニ入り一名ハ尋常中學校長ニ任セラレタリ

理科大學ニ於テハ本學年學術攻究ノ成績ヲ得タルモノ少カラス全國磁力ノ實測其首要ナルモノナリ本邦磁力ノ三元素即チ水平力傾角方

位角ノ概要ヲ成ルヘク僅少ノ時間ニ於テ實測センコトヲ要シ廿年六月下旬ヲ以テ物理學教師カルギール、ヂー、ノット及學生長岡半太郎ヲ北部地方ニ助教授田中館愛橘ヲ南部地方ニ遣シ北部ハ九月上旬ニ南部ハ十月中旬ニ至リ其取調ヲ了セリ其成績載セテ帝國大學紀要理科第二冊第二號ニ在リノットハ本年夏季休業ニ際シ本國ニ歸省スルヲ以テ本邦磁力ト比較シ英國ノ磁力ヲ實測センコトヲ囑托セリ廿年八月十九日皆既日蝕ヲ觀測センカ爲メ星學教授寺尾壽ヲ栃木縣下黑磯ニ派遣セリ又人類學研究ノ爲メ大學院學生理學士坪井正五郎ヲ埼玉縣下横見郡吉見村里谷百宍ト稱スル地ニ就キ横宍ヲ探究セシメ既ニ二百三十個ノ多キヲ實驗シ古器類ヲ採掘スルモノ少カラス又同氏ヲ東海道畿内山陰山陽等ノ地方ニ派遣シ古墳探究古器物採收ニ從事セシメタリ此他該大學各學科學術研究ノ成績ヲ得ルモノ少カラス帝國大學紀要第一冊四號第二冊三號ニ記載シテ之ヲ世ニ公ケニス元來該書ハ



頗ル歐米各國諸學家ノ好評ヲ博シ外國書肆ヨリ通信シテ之ヲ購求スルニ至レリ廿一年六月内務海軍文部ノ三省協議シテ天象觀測等ノ事務ヲ統一セシカ爲メ内務海軍兩省ノ所轄タリシ天象觀測編曆等ノ事ヲ文部省ニ移シテ地所建物器械ヲ交付シタリ文部省ハ東京天文臺ヲ麻布飯倉町ニ設置シ帝國大學ニ屬セシム故ニ同臺ヲ理科大学ノ管理ニ附シ星學教室ヲ之ニ移シ星學教授寺尾壽ニ臺長ヲ命シタリ本學年學科課程ノ改正ハ數學科第三年級ニ近世函數論初歩及第二年第三年級ニ高等數學雜論ノ二科目ヲ新設スルニ過キス教員ノ進退ハ助教授理學士田中館愛橋依願本官ヲ免セラレ電氣及磁氣學專修ノ爲メ英國留學ヲ命セラレ且物理學教師カルギール、ゾー、ノットノ雇期ヲ尙三ヶ年間繼續シタリ本學年卒業ノ學生ハ數學ニ一名星學ニ二名物理學ニ一名動物學ニ一名地質學ニ二名通計七名ナリ前學年卒業學生ノ内三名ハ大學院ニ入り一名ハ地質局ノ技手ト爲リタルニ本年ニ至リ大學

院ニ入りタル者ノ内二名ハ退學シテ各適應ノ職ニ就キタリ蓋シ理科大學ノ卒業生ハ每年少數ナルニ近來技術官及學校教員等ニ任センカ爲メ其需要大ニ増加シ常ニ其人ヲ得難キニ苦ム來學年ノ如キモ亦該大學ニ入學スル者極メテ僅少ナリ理科大學ノ諸學科ヲ獎勵シ學生ノ增加ヲ謀ルハ學問上緊要ナルハ論ヲ竣タス目下社會ノ急務ナリトス去十八年舊東京大學ニ於テ建築ニ着手シタル化學教室ハ來八月落成ヲ告クベシ然ルニ該室ハ專ラ化學ニ充用スルノ目的ヲ以テ設計シタルモ着手後帝國大學ノ設置アリ隨テ諸般ノ計畫ニ變更ヲ生シ數學及物理學ノ教室ヲ該室階下ノ諸室ニ移轉スルコトニ決セリ理科大學諸教室ノ中動物學植物學地質學ノ標品陳列場及其適當ナル實驗場ナキハ授業上及貴重ナル標品ノ保存上ニ一大缺失ナリトス異日此新設アルニ至リ始メテ諸教室ノ稍完全ヲ見ルヘシ

各分科大学ノ現況及豫圖ハ大畧前述ノ如シ而シテ大學院及帝國大學



全體ニ關スル事項ヲ陳述スヘシ帝國大學評議官穗積陳重及志田林三郎ハ依願解任鳩山和夫及辰野金吾ハ其後任ヲ命セラレタリ大學院ニ於テハ學生攻究ノ時限ハ二ケ年ナリシニ其規程ヲ改正シテ之ヲ五ケ年ト爲シ其最初二ケ年ハ各其學科所屬ノ分科大學研究科ニ入り攻究ニ從事シ後三ケ年ハ各實地ニ就キ又ハ其他適當ノ方法ヲ以テ尙學問ノ經歷ヲ累子タル後學位試驗ヲ施行スルコトニ定メタリ本學年末現在ノ學生ハ十六名ニシテ法學士五名醫學士三名工學士四名文學士一名理學士三名ナリ分科大學通則ハ醫科大學卒業試問ニ關シ一、二ノ改正ヲ加ヘタルニ過キス學生ノ健康保護及品行監督ニ就キテ新設シタル事項ハ本學ニ衛生委員ヲ置キ醫科大學長ヲ以テ委員長ト爲シ土地家屋飲水及學生ノ健康ニ關スル事ヲ注意シ其改良ヲ計畫セシメ且ツ學生ニシテ不必要ノ借財ヲ爲ス者ハ品行不良ニ屬スル過失トシテ之ヲ處分スヘキコトニ定メタル等ナリ從來寄宿舎ハ狹隘ニシテ學生ノ

幾分即チ上級ノ學生ヲ入ル、ノミナリシヲ以テ工科大學移轉ニ付其學生ヲ居住セシムルコト能ハス故ニ寄宿舎一棟ヲ増築シテ該學生及他ノ學生ヲ寄宿セシメント欲シ其工事ニ着手セリ數月ヲ出テスシテ其落成ヲ見ルヘシ政府ハ廿一年四月勅令第十九號ヲ以テ文部省直轄學校收入金規則ヲ公布シ本學基金ヲ増殖スルノ地ヲ爲シ必要ナル場合ニ於テハ授業料ヲ以テ經費ヲ補充スルノ途ヲ開ケリ本學年末學生撰科生徒ノ總員ハ七百八十八名ニシテ其内卒業スル者百三十二名ナリ獎學ノ爲メ若クハ就職ヲ約スルカ爲メ本學及官廳會社有志者ヨリ貸費若クハ給費ヲ爲ス者二百十六名ノ準備アリテ實際貸費ヲ受クル者大學院ニ十二名法科大學ニ五十四名醫科大學ニ十五名工科大學ニ四十七名文科大學ニ十二名理科大學ニ十三名通計百五十三名ナリ其實員ハ準備ノ定員ニ達セス尙學生ノ益多カラシコトヲ希望ス却說本學年建築ノ落成スルモノハ工科大學其建坪千九坪工費金貳拾萬圓理



科大學化學教室其建坪五百五拾坪工費金拾四萬圓醫科大學醫院等ノ下水暗渠其延長千百八十八間工費五千百圓ナリ目下着手中ニ係ルモノハ燃料瓦斯管ノ布設貯水池給水管水塔ノ建設寄宿舍ノ増築ナリ目今圖書館ハ法科文科大學ノ教室ヲ假用シ不便ヲ感スルノミナラス其建築ノ設計之ニ適當セサルカ爲メ圖書ノ重量過大ナルヲ以テ危險ノ虞ヲ免レス來學年ニ於テハ圖書館ノ新築ニ着手センコトヲ期ス又圖書館寄宿舍醫院ハ夜間點燈ヲ要シ石油ヲ以テ光料ト爲スカ故ニ失火ノ虞ナキヲ保セス電氣燈ヲ以テ之ニ代ヘント欲シ其設計ニ着手セリ以上陳フル所ノ實況ニ依レハ學術進歩ノ設置ハ漸チ以テ備ハリ本大學々術上ノ產出物モ亦タ少ナカラス而シテ國家須要ノ學術技藝ヲ修メタル卒業ノ士亦年々多少ヲ增多ス概シテ帝國大學ハ正ニ發達ノ氣運ニ向ヘリト云フヲ得ヘキハ余カ諸君ト共ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ玆ニ此報道ヲ終ルニ方リ謹テ

天皇陛下ノ萬歲ヲ祝シ帝國大學ノ隆昌ト卒業學生諸氏ノ健康ニシテ益本學ノ効徳ト信用ヲ世ニ廣大ナラシメンコトヲ祈ル



紙	五	五	七	八	一	同	一	一	一	二	同	二	二	二	二	二	二
數	三	八	〇	八	〇	〇	六	五	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

正誤

行	一	一	二	一	三	二	七	二	三	五	七	一	六	一	一	一	一
數	一	一	一	三	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

遣ハ道ノ誤  
 地ハ施ノ誤  
 三時ハ二回ノ誤  
 醫學ノ下科ヲ脱ス  
 天野富太郎ノ肩書カビハビヂエハヂユノ誤  
 若山鉸吉ノ肩書ダツプリカシヨントヂエニートノ  
 間ニヂユヲ脱ス  
 第二ハ一ノ誤  
 神田乃武ノ肩書バツチエロルハマストルノ誤  
 北尾次郎ノ肩書アルチヨムハウノ誤  
 鉛ハ鉛ノ誤  
 島ハ鳥ノ誤  
 部ハ郎ノ誤  
 字ハ字ノ誤  
 猶ハ楯ノ誤  
 加ハ賀ノ誤



明治二十一年十一月出版

編纂兼出版

帝國大學

賣捌所

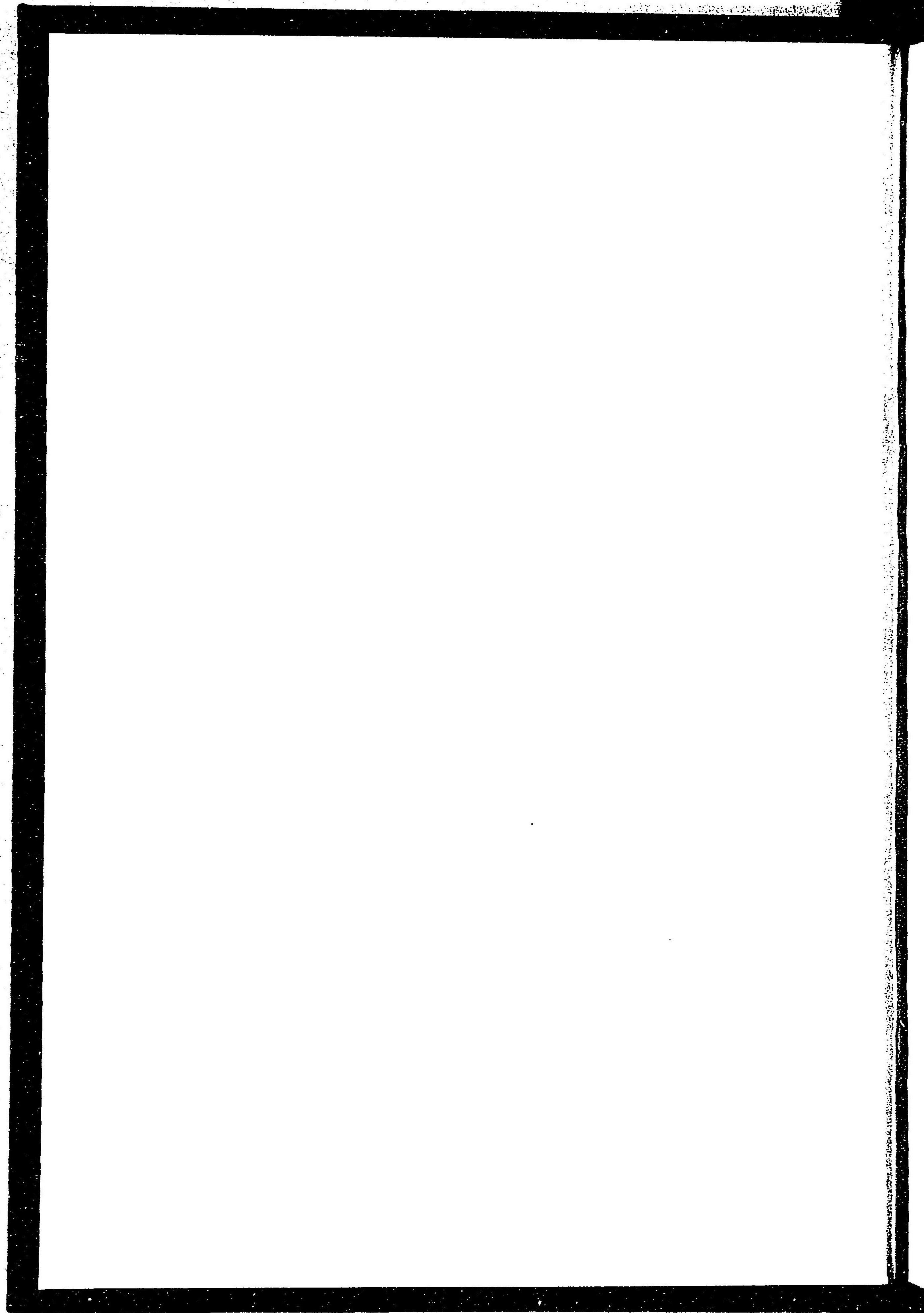
丸善商社書店

東京日本橋區通  
三丁目十四番地

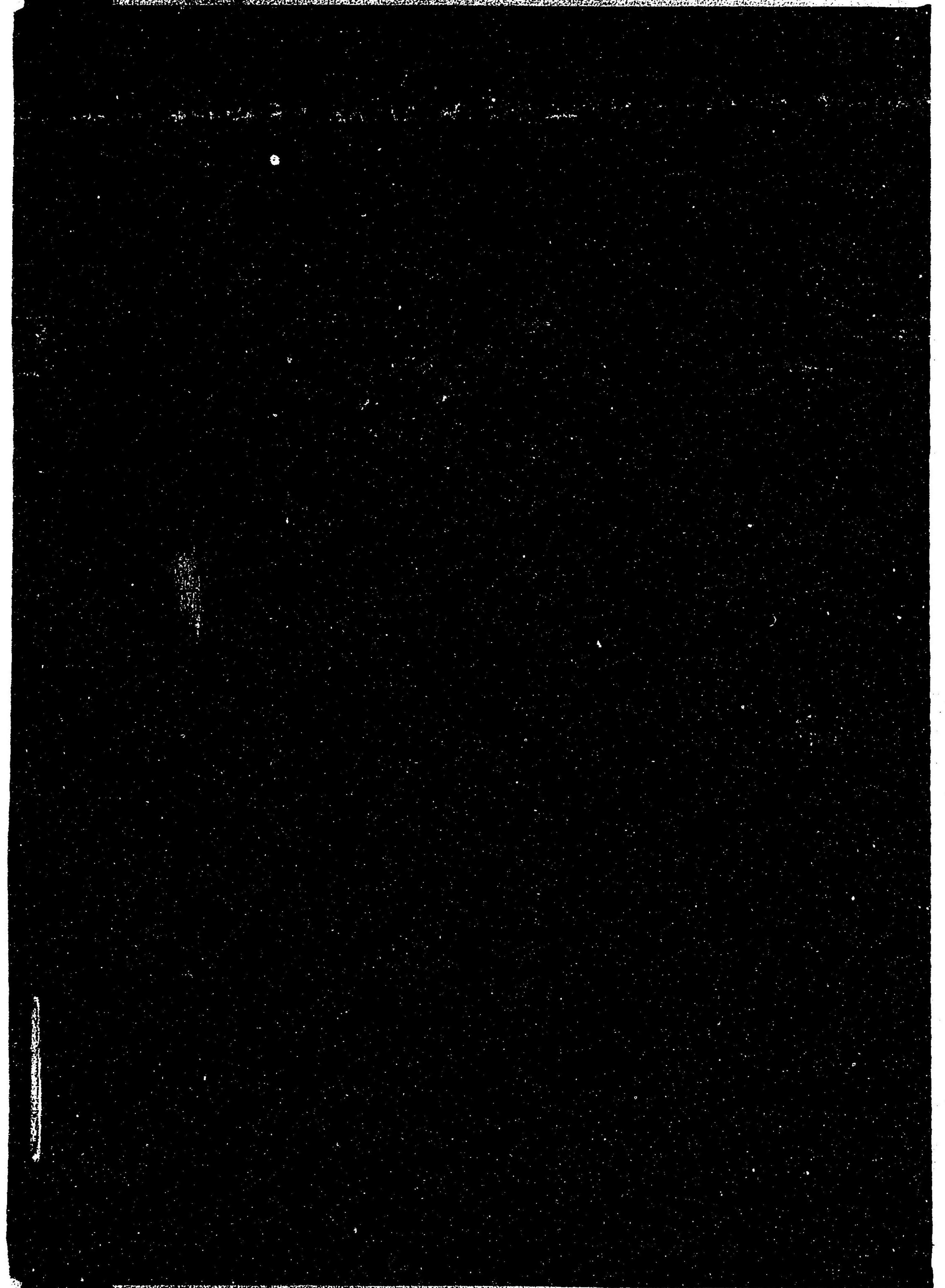


IF 4W 8











281  
2

048886-003-2

281-2

東京帝国大学一覽

明治19-37, 39-45年

東京帝国大学

M19-45

BEJ-0630





